

22/1/19 名古屋城市民向け説明会後の河村たかし名古屋市長ぶら下がり  
(名古屋市民オンブズマンによるメモ)

河村：64名の方が参加した

コンクリートで復元するということは聞いたことが無い  
名古屋の宝  
それに答えるようにつukらないかん。  
1000年持つ。法隆寺1300年持つ

記者：厳しい意見も出た

河村：そりゃ反対の人はいますから基本的に。

コンクリートでええという人もいます。  
そういう意見もある  
コンクリートは1000年持たない  
首里城をコンクリートで復元したらどう思うかね  
すごく怒ると思いますよ  
国宝第1号 丁寧な上にも丁寧にやらせてくれ  
12こお城がある  
石垣をどうするか  
専門家の意見をよく聞いて合意してやっている

記者：質問にありましたが、21日からまん延防止が適用されますが、  
説明会はオンラインでやらないのか

河村：オンラインでやるのもあるって言ってましたけど

佐治：動画を配信しています、YouTubeで  
まるはっちゅーぶ。それはやっています

河村：説明会をオンラインでやるということではない？

佐治：とは違います

河村：変なもんだわね、質問なんかオンラインで受け付けられんでしょ？  
今の技術では  
しゃべる方はいいけど

なんか、世界中に向けて質問のある方はなんかやってくださいって、

記者：WEB 開催について

河村：WEB 開催はこちらがわの説明だけならできるわな  
YouTube なら YouTube でやる  
だれが質問するかと いうことはいちおう  
だれでもええということはええけど  
早いもんじゅんになるのかええけど  
そのへんはわからんけど  
できりゃそれはそれで  
ゲットできて連絡し合うことができるかどうかちょっとようわからん  
早いもんじゅんになるのか  
ものすごい数になるでしょう 日本中でやったら  
世界中でやったら  
できると面白いけどね

記者：なかなか質問出しづらい 説明会として内容がないのでは

河村：文化庁が決めることだということですよ問題は  
文化庁のペースでやっぱりすすんでいかないといかん  
どうやるのか 方針ができて  
全員一致だと そりゃ文化庁から要求されましたから  
死んじゃうがや わしは一刻でも早く作って欲しいけど  
文化庁から  
失礼に当たる

記者：どこまで来年やるのか

河村：復元検討委員会の日というのは来年だったかねあれ

佐治：令和 4 度中に全体計画をまとめて文化庁に提出予定

河村：すべて回っているのか  
そのペースでやってる  
石垣に関しては、非常に議論が難しいですよこれ  
勉強しましたけど

どうしても専門家の皆さんも一家言あるひとばっかなもんで  
本当に丁寧にすすめてこういうと、やっぱりある程度  
時間がかかる  
現物の石が圧力に耐えられるかというのは現物の石で  
チェックしているのではない  
ということなんですよ  
なんでかという石を圧力かけてって、壊れちゃうじゃないですか  
石はもう一回作れませんもんで  
普通の建築資材を耐力 全然意味が違う  
相当難しいですよこれは  
孕んでいるところでも、抜くのか、めちゃくちゃ危ない  
普通の考え方だと、今ある状況で何年からいろんな方向から見て  
移動がない場合、実はそれが一番安定的なんだという  
意見もある  
僕はそうしかできんなと思っている  
コンクリートのブロック積むんだったらブロック積みばいい  
違う  
自然石でしょうこれ

記者：昇降技術 年度内にやるとおっしゃっていたのが  
予算結構 新年度以降ということか

河村：予算は出します

記者：この時点で遅れが生じているということになる

河村：しょうがないわね

記者：昇降技術というのは具材に関して火源は木造天守の  
中に設けないということなんです、昇降技術というのは  
火源にはならないんですか

河村：昇降技術 別だといっとったやつは  
昇降技術は別ということ？  
それちょっとあれ

佐治：まだ現時点で公募も始まっていませんので、

どういう技術を採用するかということはお答えできない

記者：逆に言うと火源になる提案というのは採用しないということか

エレベーターとか電気使うことになると思うんですけど

名古屋城：あまり細かなところまでちょっと数字まで覚えていないんですけど、天守台で発生する、例えば観覧するときの説明板とかですね、そういった什器、どのくらいの可燃、エネルギーがあるかというのは防災計画というモノをたてているんですけど、そういったものをオーバーしないような制限をかけてバリアフリーの技術を公募しますんで、そういったことにはならないというふうに思います

記者：先程説明会だと、そういったものは一切使わないというようになんか私の理解としては市民の皆さんも理解したので、本当に電気を使わないのかしら、とちょっと思ったりもしたんですけども

名古屋城：暖房とかですね、いわゆる発熱するようなもの、結局阪神淡路のときになんで火災が起こったかという、電気ストーブだとか、倒れたり、その上に家具なんかが倒れてきたり、まあそういった状況になって停電して、ブレーカー落ちてないまま停電しますと、そのあと電気が復旧したときに電気がそのままつながってしまって、例えば電気ストーブとか

記者：その説明は先程聞いたので承知しています

名古屋城：なので、暖房器具なんかは天守の中に入れてませんので、そういったものはないということです

記者：先程新年度 予算措置は2月補正、新年度予算なのか

河村：新年度かな

名古屋城：編成途上ですので

河村：編成途上

まあそんな感じですよ

記者：新年度からしか公募ができないということですか

河村：そうなるか？そうなるかね

名古屋城：そうなるかもしれません

河村：まあしょうがないですよそんなもん

世界ではじめての建築だもん

国宝一号

記者：他よろしいですか

記者：素朴な疑問なんですけど、今回市民説明会で

どれくらいの予算規模でというか、今までいくらくらい

使って、準備をしてきたとか、お金関連の説明って

一個もなかったかなと思うんですけど

そのあたりは敢えてしていないんですか

河村：説明が？

記者：はい

河村：説明

記者：市民から預かった税金を使っている

説明する義務はないのでしょうか

河村：してもいいんじゃないですか 別に

宝を作るための必要な経費がいりませんがね

世界の宝 1000年の

無駄使いなんて1円もしてませんので

全部国産材使うなんてすごいですよ

記者：意図的ではないということですね

河村：そうです

自信ありますがね

こんなコストパフォーマンスええ建物ないですよこれ

いっときますけど

1300年持つ 法隆寺だったら

500年くらいで大修理がいるいってましたけどね

ええ

すごいですよ

記者：よろしいですか

ありがとうございます。